



沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業 地域円卓会議（オンライン）

実施報告書

【1日目】

- 日 時： 2020年10月15日（木）19:00-20:30
開催方法： Youtube 配信
収録場所： 沖縄市コザミュージックタウン エイサー会館
テ ー マ： 沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業。
今どんな課題があるのか、しっかり確認

【2日目】

- 日 時： 2020年10月26日（月）19:00-20:30
開催方法： オンライン会議（zoom）
収録場所： 公益財団法人みらいファンド沖縄
テ ー マ： 沖縄市とうるま市の歴史文化コンテンツを活用した
ムーブメントを起こすためのアクションはなにか？

- 主 催： 沖縄市、うるま市
協 力： 公益財団法人みらいファンド沖縄、NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成
NPO 法人まちなか研究所わくわく
公益財団法人みらいファンド沖縄

ACTIVITY REPORT

【報告】 沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業地域円卓会議



【1 日目】

- 日 時：2020 年 10 月 15 日（木）19:00-20:30
- 開催方法：Youtube 配信 (<https://www.youtube.com/playlist?list=PLCpGsta0zIBAtE3JqiTpyNua0LU35qfp1>)
- 動画再生回数（11/13 時点）：81 回（1 日目 1/2）、47 回（1 日目 2/2）
- 着席者数：8 名（論点提供者、司会、記録者含む）

論点提供

安慶名 豊美 氏（沖縄市 経済文化部 観光振興課 課長）

松岡 秀光 氏（うるま市 経済部 観光振興課 課長）

沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業。
今どんな課題があるのか、しっかり確認

センターメンバー（1 日目）



安慶名 豊美
沖縄市
経済文化部
観光振興課
課長



松岡 秀光
うるま市 経済部
観光振興課 課長



山田 一誠
一般社団法人
沖縄市
観光物産振興協会
事務局長



富所 英男
うるま市
観光物産協会
事務局次長



平良 勇人
株式会社
プラザハウス
専務取締役



平田 大一
うるま市文化観光
戦略推進事業
総合プロデューサー

【2日目】

- 日時：2020年10月26日（月）19:00-20:30
- 開催方法：オンライン会議（zoom）
- 着席者数：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 参加者数：8名（企業、行政、議員等）

論点提供

松岡 秀光 氏（うるま市 経済部 観光振興課 課長）

富里 直人 氏（沖縄市 経済文化部 観光振興課 課長補佐）

沖縄市とうるま市の歴史文化コンテンツを活用したムーブメントを起こすためのアクションはなにか？

沖縄市とうるま市では、両市の歴史文化関連施設を周遊する広域観光の取り組みをスタートします。先日（10/15）に行われたセッション1（情報提供）では観光に関わる団体や両市の行政機関と、事業が成功するための条件や課題についての様々なデータや情報を確認しました。

今回の地域円卓会議では、「沖縄市とうるま市の歴史文化コンテンツを活用したムーブメントを起こすためのアクションはなにか？」と題し、参加者の皆さんとも両市をつなぎ沖縄東海岸にかかる、観光誘客のターゲティングや地域の事業者と住民の関わり方等を中心に話し合っていきます。

センターメンバー（2日目）



松岡 秀光
うるま市 経済部
観光振興課 課長



富里 直人
沖縄市役所 経済文化部
観光振興課 課長補佐



山田 一誠
一般社団法人 沖縄市
観光物産振興協会
事務局長



渡久地 明
沖縄観光速報社
編集長



平田 大一
うるま市文化観光戦略
推進事業
総合プロデューサー

➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

- 1) 観光施設・観光業は地域の暮らし（経済・環境・教育・人材育成）に何をもたらすのかをしっかりと地域内で共有すべき。このプロセスが、地域の参画を産み出す原動力になると考えられる
- 2) 歴史文化施設の運用は民間のアイデアを尊重し、できるだけ柔軟に運用できるルール作りを。また、モデルコースも文化施設のみの周遊にはこだわらないストーリー作りをすべき
- 3) 観光客の大きな人の流れから、どう歴史文化コンテンツに興味を持ってもらい誘導していくか、優先順位をしっかりとって取り組み、地域内で成功体験を共有していくべき

■参加者によるサブセッション

沖縄市とうるま市の歴史文化コンテンツを活用した ムーブメントを起こすためのアクションはなにか？

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

①

- ・エイサー会館、エイサーのイベントでどれだけの観光客がきているかが分からない(数的データ)状況であるが、問合せは多く全島エイサー祭りにも参加していると思われる
- ・エイサーの踊り手は不安定(ボランティアで行っているのでシンドイところもある)内向きに踊っているのが、外から評価されるものもある。地元愛を自己表現の場としてのエイサーがあり、ムーブメントにつながる可能性はある
- ・平敷屋の伝統エイサーで新しい取り組みも検討している。沖縄市やうるま市とコラボ

して面白い取り組みもできる。内向きと外向きを考えていけると良い。エイサーの道ジュネーを大通りでできると良い。

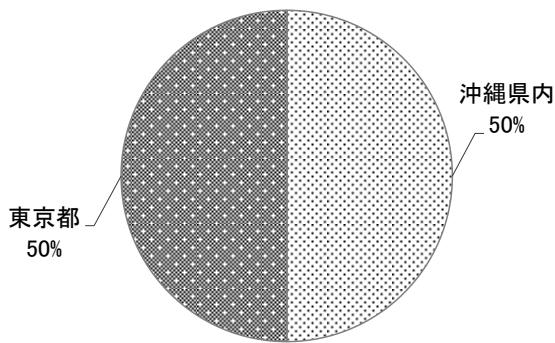
- ・若者がエイサーを続けることが難しい環境がある。そこをケアしてエイサーを盛り上げる必要がある。文化から観光資源に持っていけると良い。泡瀬の綱引きを5年に1回ではなく、1年に1回にしてエイサーも一緒にいった方が良い
- ・南米に世界の若者ウチナーンチュ大会に行った際に、南米の若者がエイサーを行っていたのに感動した。世界のエイサー団体を繋げて年に1回世界大会を行っていく方が良い

**沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業
地域円卓会議
参加者アンケート集計**

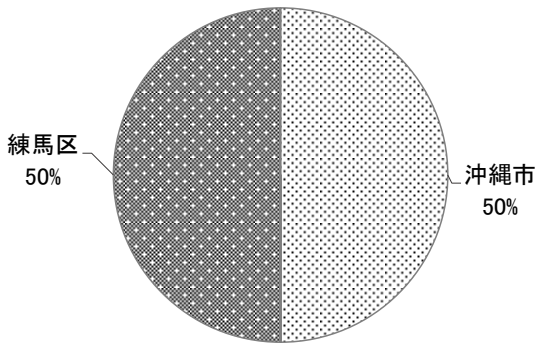
◆概要

- ・日時：2020年10月26日（月）19:00-20:30
- ・開催方法：オンライン会議システム（Zoom）
- ・着席者：7名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：8名（アンケート回収2名、回収率25%）

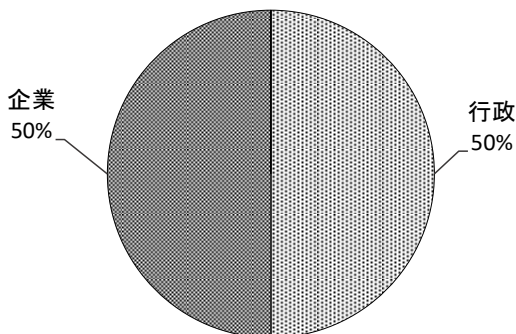
1. どちらから？（都道府県）



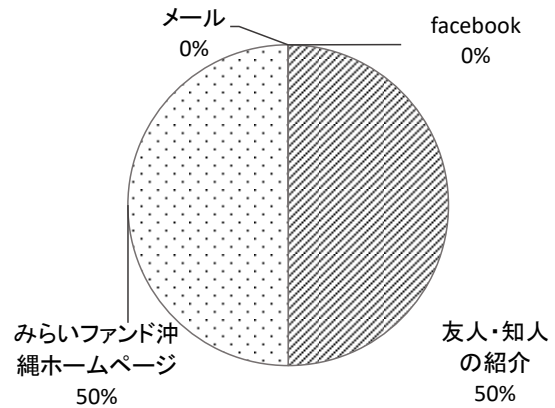
2. どちらから？（市町村内訳）



3. 所属



4. 円卓会議をどのように知ったか



5. 満足度

平均：4.5（5点中）

満足度	4.概ね満足	3.普通	2.あまり満足していない	1.不満足
5.満足	1名	0名	0名	0名

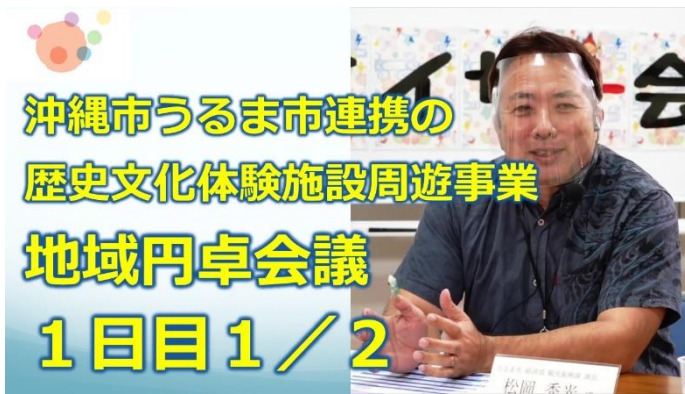
6. 満足度の理由

- ・多周遊観光の課題や可能性について理解を深めることができた
- ・女性の視点も取り入れてほしかったので、男性ばかりだったのが少し残念。事前にプロフィールは共有して頂いたら、どの人がどの立場で話しているかが分かったのが事前共有してほしかった。会議の目的・最終着地点が具体的に分からないのが残念だった

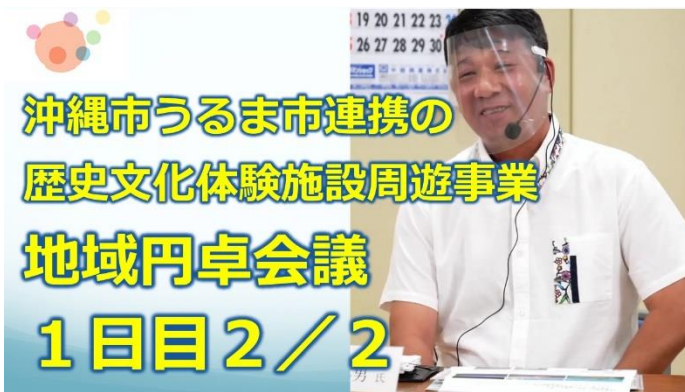
7. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ムーブメントからブランディング、そしてスタイルへ
- ・行政施設のマネタイズ化
- ・文化継承と新しい文化創造（エイサーや現代版組踊）
- ・異分野のコラボレーション
- ・日常を魅せる観光
- ・外からの人々を受け入れる仕組み。
- ・良いアイデアがたくさんあり、学ぶことが多かったです。

<動画記録（1日目）>

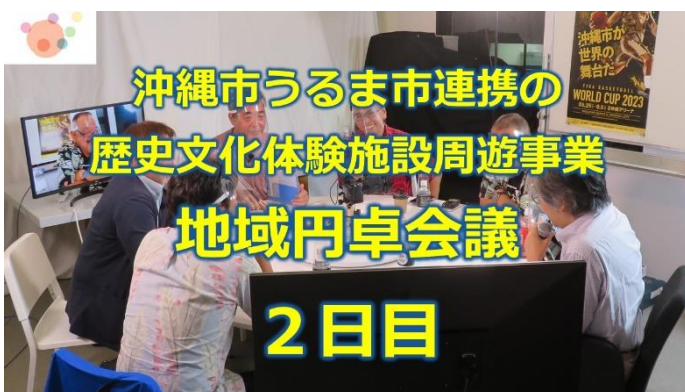


- 公開日：2020年10月20日
- 再生回数：81回（11/13時点）
- URL：<https://youtu.be/KDWPHubUmQI>



- 公開日：2020年10月20日
- 再生回数：47回（11/13時点）
- URL：https://youtu.be/TsnuLorY_6s

<動画記録（2日目）>



- 公開日：2021年3月31日
- 再生回数：26回（4/2時点）
- URL：https://youtu.be/ua2F0G_GIII

沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業 地域円卓会議

オンライン

地域の困り事を
社会課題とい
共有・共感する場

1日目

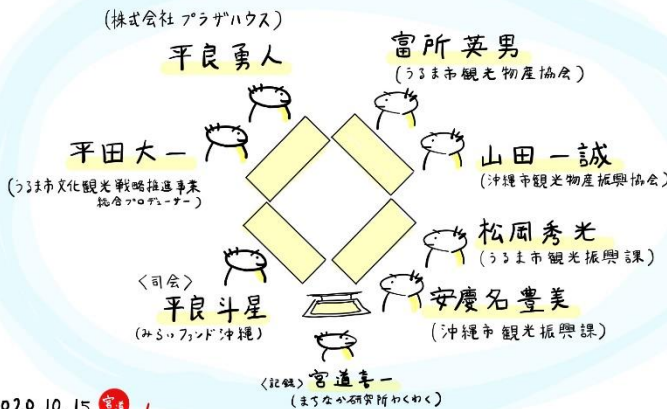
2020.10.15(木)

19:00 ~ 20:30
収録 エイナ会館

2日目 10.26(火)

テーマ 沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業。
今どんな課題があるのか、しっかり確認

主催 沖縄市、うるま市 協力 みらいフンド沖縄、まちなか研究所わくわく



2020.10.15

論点提供

沖縄市

安慶名城 (沖縄市役所)

うるま市
うるま市 いろいろなおコンテンツある
外国人 広島
FC琉球 パナソニックパソナズ
施設も充実

訪れる人県外の方が8%

まだまだ知らない
泊っていただいている

来訪の選択肢を増や可

歴史 エイサー会館
8/10 のびでかい

市内の滞在時間短くおぼす

広域周遊観光

- チャレンジ
- うるま市どう思っている?
- 一緒に盛り上げる上での課題は?

2020.10.15

論点提供

うるま市

松岡さん (うるま市)

かつれん域18万人
海中道路

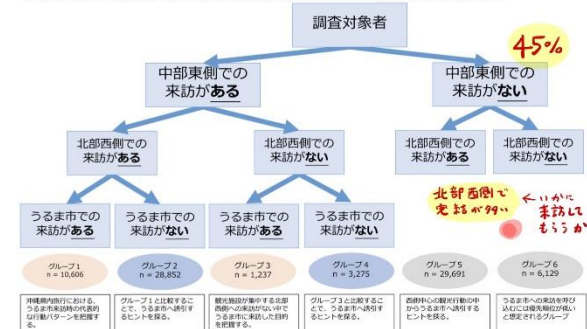
これまでも話あった
いよいよなって課題解決へ

経済的影響まだみえない
所得の改善も
可じおりのまち

うるま市観光動向分析 2018.11~2019.12 (12ヶ月)
OSTレンタカーのGPSデータ
外国人国籍 1.台湾 2.韓国 3.香港
49,251 12,342 9,206 (車両)

1. 県内周遊パターンによる属性分類

沖縄本島内の周遊行動パターンにもつづき、下記6パターンに分類する。
※来訪がある=当該エリア内のいずれかの市町村で60分以上の停車があった場合来訪と定義



コロプラ × OTS サイバシス 観光研究 観光動向調査レポート

西側 那覇
↓
58号線

東側 329号線
弱い

どう物動してもらうか
大型バス・公共交通

観光客100万人のうち
どれくらいにきてもらうか

山田一誠 (沖縄市観光物産振興協会)

観光客は市をこえて行く

- 歴史は観光道派になる
知花・ごえく、もっこみがけば
修学旅行の対応
ドルも使う体験とか
ライオンハウスで平和講和
- 深ぼりして伝えろがイデ
街の楽しさ大きくわかる
語りバ、誰が伝えたのか、ガイドの育成している
- 琉球文化 → 修学旅行のこころ
伝えろれる人材育成

(株式会社アラザハウス) → 1957年できた

平良勇人 洋画 外国のものを

- オビオリ観光 20年
- 1997年1番あげてた
バス観光 → 450人 → 10%
(アラザハウス 東南植物学園)
- 夏は売上なかった、冬はしまれた流れ
今はレンタカーでフリー ツアー・団体
- 映画・音楽・芸能の奥深さ
コンテンツ わかりやすさ リポーター
選ばれるためには?

沖縄市とうるま市が
組むことの可能性

富所英男 (うるま市観光物産協会)

浜比呂 了てミチユ

うるま市コンテンツ

パワースポット

- 勝連城 海からみてみる
ご城印帳
周遊へ
- 阿麻和利 ステージイベント、すばらしい
多言語
アプリでみれる

山田さん

- 宿泊もシェアするしくみ必要 瀬PA DMOなど
- DMO (Destination Management Organization)
- 観光資源を生かし、連携・協働して地域づくりも

→ 沖縄市で連携の周遊

2020.10.15 3

平田大一 (うるま市文化観光戦略推進事業 協賛アドバイザー)

〇〇で周遊

よいところを
つなぐ

共通項 あるテーマの設定

- エイサー < うるま市 エイサー発祥の地
沖縄市 エイサーのまち
- グスク - 琉球歴史ロマン

アイコン・目印は必要

了ダブルン



そこから次の
コンテンツへつながる
阿麻和利では舞台が語り部に

沖縄市で
うるま市で
共通のものを
もつ

課題もつなぐ
可能性も大きい

住民の参画

演出が大事
親せきづきあ
いできる旅人

民泊への
取り組み

ムーブメント → ブランディング → スタイル

どんなお客さんきてほしいか
お客さんのブランディング

島づたいに 海上タクシー
海でつながる
広域周遊とか

地域にいてよい
旅のカタチとは? 西海岸では
ちがう

地域に受け入れられる
観光のカタチとは?

ルーツ・ツーリズム
目的型観光

次回の論点は?

テーマが大き
すぎる?

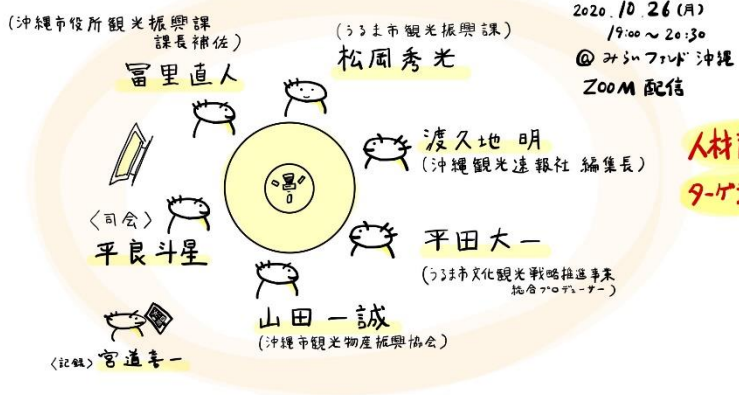
- 何をもって成功とするか
- 何を優先的にやるべきか 決めること
届けられる
- 誰にどれくらいきてほしいか 都府部の育成
- 誰が伝えたのか 親せきづきあ
- また会いましょうと言えろ
まちの人と旅の人のつきあいの濃さ
- まず地元の子 地域に
歴史を知ってほしい 教育プログラムの組み合せ

2020.10.15 4

<板書記録 (2日目)>

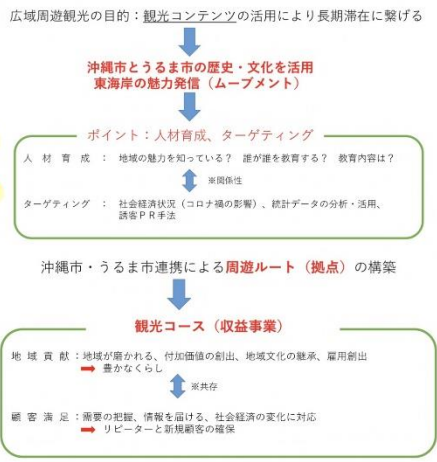
2日目 沖縄市とうるま市の歴史文化コンテンツを活用したムーブメントを起こすためのアクションはなにか?

富里さん



2020.10.26(月)
19:00~20:30
@みみろフンド沖縄
ZOOM 配信

人材育成
ターゲット

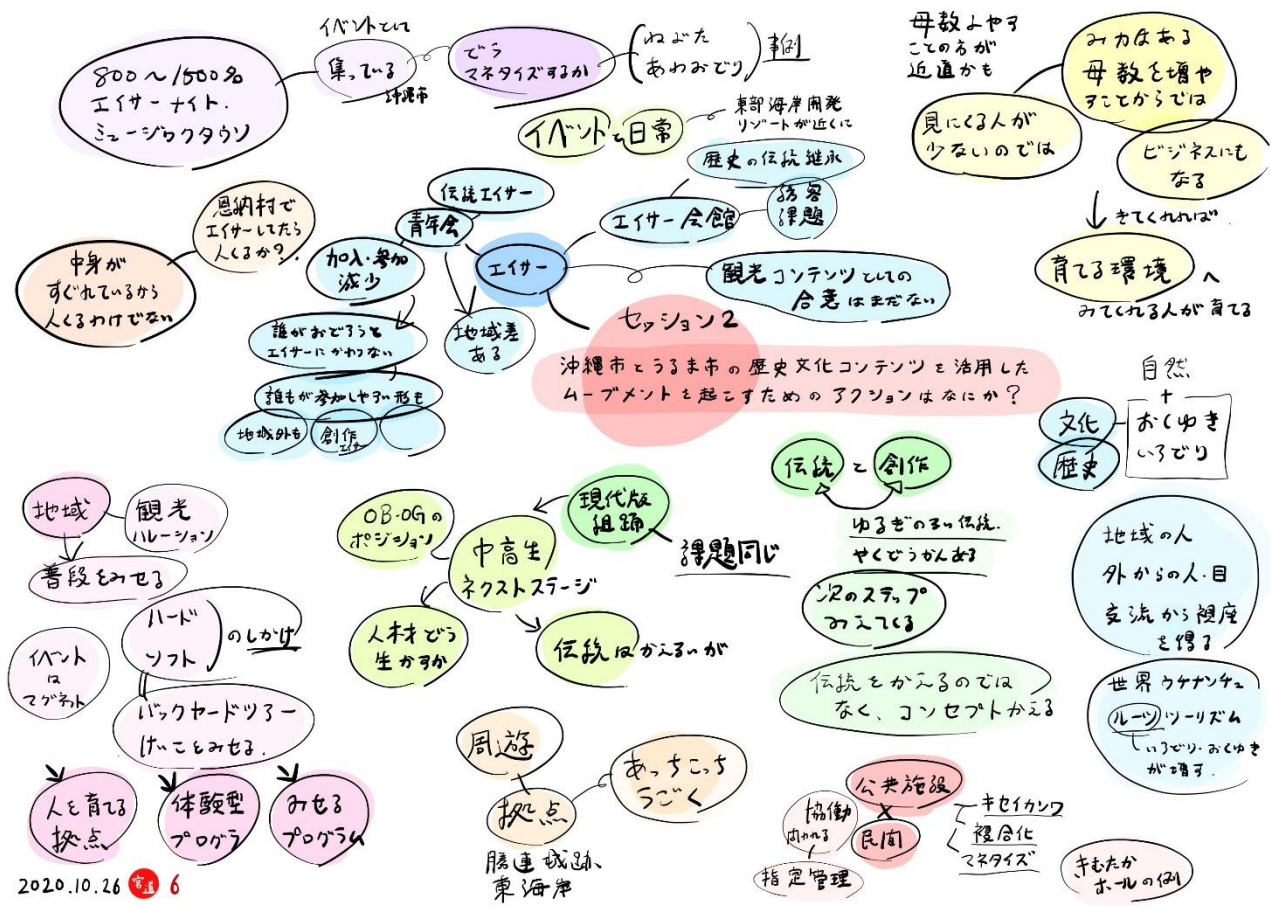


19:00	オリエンテーション
19:05	ふりかえり
19:15	ナレーション
19:55	セッション2
20:20	まごめ
20:30	終了


松岡さん

沖縄市とうるま市のムーブメントへ → 2~3年で交流人口増
 ↳ 地域コンテンツの“ブランディング”
 ↳ 滞在日数の増
 ↳ 地域が受け止められるスタイルも
 ↳ 地域全体を舞台として大人たす演じていく

2020.10.26 電話 5



2020.10.26 電話 6


 渡久地 明
(沖縄観光速報社 編集長)


- 地域の合意
- 基本的に合意している
- オーバーツーリズムヨーロッパ
- 観光産業が地域に役立つことを示し、約束する
- 地域の合意、生活の質を高めること
- 対立するものではない

(沖縄市役所観光振興課 課長補佐)

 富里直人


- 育ち環境つくること
- 拠点
- 連携・コラボ・キーワード
- 歴史・文化
- 情報の共有

 山田一誠
(沖縄市観光物産振興協会)

- 日常をみせる
- コサマーケットのこりくみ  民間主催
- 1日で4000人が一番街を歩いた

 平良斗星
(司会)

- 拠点を大事
- どうやわらかく運用するか
- 観光業界が地域にどうコミットするか
- 教育プログラムへの波及も
- 人材を育て、地域の理解を
- こりくみの優先順位については 今回つめのこし

2020.10.26  7